



平成26年2月20日

「高松宮妃癌研究基金研究助成金」を 大原利章非常勤講師（医）が受賞

概要：平成25年度「高松宮妃癌研究基金研究助成金」表彰式が2月21日、パレスホテル東京（千代田区）で開催され、本学医学部消化器外科学（藤原俊義教授）の大原利章非常勤講師が表彰されます。これは「肝臓癌における除鉄誘導療法の確立」の研究題目が採択されたもので、大原非常勤講師らは、がんと鉄との関連性に着目して、体内鉄をコントロールして血管新生を標的にした分子標的薬の治療効果を高めるという新規治療法を開発した成果が認められたことによります。

今後、大原非常勤講師は本研究助成を元に、大学院医歯薬学総合研究科分子肝臓病学の能祖一裕准教授らの研究グループとともに臨床研究を行う計画です。

本治療法の有用性が証明されれば、長年世界で議論されてきた、がん組織への血管新生を標的にした分子標的薬の新規治療理論を実証できることにつながり、学術的なインパクトのみならず、がん治療につながる社会的インパクトがとても大きいものとなります。

<業績>

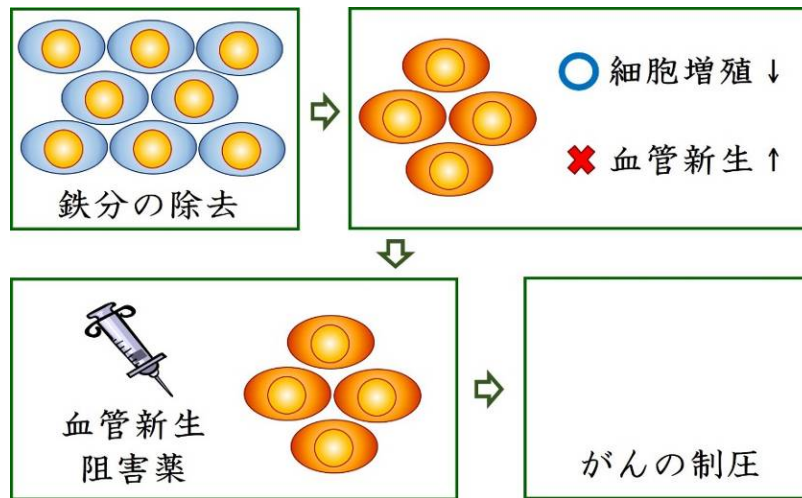
平成25年度「高松宮妃癌研究基金研究助成金」の表彰式が2月21日、パレスホテル東京（千代田区）で開催され、本学医学部消化器外科学（藤原俊義教授）の大原利章非常勤講師が表彰されます¹⁾。この表彰は、大原非常勤講師が長年取り組んで来た、「肝臓癌における除鉄誘導療法の確立」という研究題目が評価されたためです。

高松宮妃癌研究基金は、故高松宮妃殿下が昭和8年、母君をがんで亡くされてより、がん撲滅を強く念願され、癌研究に多大なご尽力をいただく中、昭和43年4月それまでに寄せられていた寄付金を基本財産とする「財団法人 高松宮妃癌研究基金」が発足しました。その中で「高松宮妃癌研究基金研究助成金」は、がんの分野の優れた研究を行っている日本人研究者、または研究グループに対して贈呈されています。

大原非常勤講師は、がんと鉄の関連性に着目して、体内の鉄をコントロールしてがん組織への血管新生を標的にした分子標的薬の治療効果を高めるという新規治療法を開発しました²⁾。

本受賞の研究題目では、この新規治療法の安全性と有効性を検証するために大学院医歯薬学総合研究科分子肝臓病学の能祖一裕准教授らのグループとともに、臨床研究を本年度中に開始する予定です。

本治療法の有用性が証明されれば、がん組織への血管新生を標的にした分子標的薬の新規治療理論を実証できる可能性があり、社会的、学術的インパクトが大きいものと予測されます。



■ 除鉄誘導療法のイメージ図 ■

<補 足>

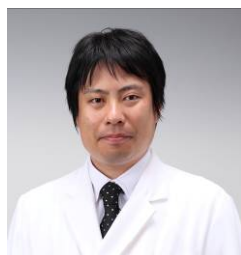
- ‘1) 本学における「高松宮妃癌研究基金研究助成金」の受賞は、早津彦哉名誉教授以来、21年ぶりの受賞となります。
- ‘2) 岡山大学プレスリリース：鉄をコントロールしてがんを追い込む新治療法を開発（平成25年6月6日） http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id44.html

参考論文：Ohara T, Noma K, Urano S, Watanabe S, Nishitani S, Tomono Y, Kimura F, Kagawa S, Shirakawa Y, Fujiwara T. A novel synergistic effect of iron depletion on antiangiogenic cancer therapy. *Int J Cancer*, 2013, 132(11), 2705-13;(doi: 10.1002/ijc.27943)

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ijc.27943/suppinfo>



藤原俊義 教授



大原利章 非常勤講師

<お問い合わせ>

岡山大学医学部 消化器外科学

非常勤講師 大原 利章

(電話番号) 086-235-7257

(FAX番号) 086-235-7636

(URL) <http://www.ges-okayama-u.com/index.html>